



議会だより

北栄



「いつかは花嫁さん」

高校生議会 2

12月 公営企業会計導入 4
定例議会

町政 ここを問う 7

委員会の報告 20



<http://www.e-hokuei.net>

北栄町議会

検索



私たちの思い

たかしましんたろう
高島真太郎 議員



問 新規農業従事者へ資金調達のためスポンサーを募集しては。

町長 スポンサーとなる企業側に明確なメリットがなければ実現しにくい。

きのしたあかり
木下朱利 議員



問 海岸清掃活動を、小・中学生も参加できるようにイベント化しては。

町長 イベント参加をきっかけに意識高揚にもつながる良い取り組みだと思う。

問 平成37年以降の風車による発電事業はどうするのか。

町長 事業を継続するのか、解体撤去を行うのか、民間等に譲渡するのか方向性を決めていく。

やまくちゆずか
山口柚花 議員



問 食育活動の一環として、町のイベントで野菜を使ったメニューを紹介し、啓発しては。

町長 町報の「食育コーナー」で旬の食材、学校給食のレシピを掲載する。こども園のメニューを3月号から掲載する。

よしだたいよう
吉田泰慧 議員



問 青山剛昌ふるさと館を、結婚式場に利用できないか。

町長 実施したいという事業者があり、著作権元との協議が整うようであれば支援したい。

なかしまるな
中島月愛 議員



問 道路整備を最優先にし、工業団地を整備することで企業誘致しては。

町長 新たに工業団地を整備することは考えていない。三陽合繊跡地への誘致と既存企業の支援に重点を置く。

問 ドリーム農場のように、スイカ・ブドウなども会社化してはどうか。

町長 スイカ・ブドウはブランド品であり生産者が主役である。声があれば積極的に支援していく。

すやまともあき
陶山知明 議員



問 複数の避難経路を表示したハザードマップを作り、カレンダーにのせては。

町長 複数の避難経路を示すのは難しくこういう場合はスマホだと思う。カレンダーにのせるのは面白い発想だ。

問 津波対策として、町にいくつか避難用の高台を建設しては。

町長 迅速な行動をとれば、高台を設けなくても避難は十分可能。

まつもとれい
松本麗衣 議員



問 高齢者が、子どもたちと一緒に楽しむ収穫祭のようなものを企画しては。

町長 普段から顔を合わせ、長くその関係が続くことが大事だが、町主体で行う新たなイベントは考えていない。

まるはやと
丸 颯斗 議員



問 若者に地元に戻ってきてもらうため、北栄町独自の奨学金制度を導入しては。

町長 町内就職した場合、金額返済不要のような取り組みが、どのような成果が出るか非常に興味深い。

鳥取中央育英高校による、平成30年度高校生議会が平成31年1月16日（水）に開催されました。今年は、前回は上回る16名が町長・教育長に19の質問・意見・提言をしました。過去にも町政に採用された例もあり、高校生らしく熱く、鋭い緊張の2時間でした。

では今回は

やまねりう
山根 瑠 議員



問 北栄町が主となり旅行会社と連携したアニメツアーを企画しては。

町長 契約者以外が著作権管理している事業者と協議することはできない。

たなかしょうま
田中翔馬 議員



問 大手メーカーに依頼し、町の果物を使って年齢層に合わせたスイーツを開発しては。

町長 試作のみを依頼するのはメーカー側にメリットがなく現実的ではない。

まつだももか
松田萌々香 議員



問 北栄町で暮らすきっかけとして、空家を宿泊施設として活用しては。

町長 旅館業法等の問題もあり、移住を検討されている方の体験施設としての活用となる。

さいおこうき
齋尾幸希 議員



問 東高尾観音寺の活用のため、保存協会を設置しては。

教育長 地元の方々が自主的に取り組まれることが大切で、活発な動きが出てくれば支援できると思う。

たけなかあおい
竹中 葵 議員



問 北条オートキャンプ場の沖に海上アスレチックを設置しては。

町長 遊泳禁止の上、安全に運営を行うにはハードルが高い。

おかもとなおや
岡本直也 議員



問 B級グルメや和菓子などの新商品の開発を地元企業に依頼しては。

町長 菓子メーカー・加工業者など新メニュー・お菓子等の開発の声があれば町が中心となり後押ししたい。

たなかりゅうが
田中隆雅 議員



問 空家の再利用として、町が資金援助をし公募でカフェをオープンさせては。

町長 出店や起業に関する独自の支援制度がある。町が直営で運営することは考えていない。

かげい かげる
影井 翔 議員



問 全国高校生太鼓甲子園のようなイベントを開催しては。

教育長 まずは高校生に積極的に取り組んでいただき、全国大会に参加すれば機運も高まるのではないかと。

追跡 私たちの質問あれからどうなった!

図書館の車庫がオープンギャラリーに



平成28年度の高校生議会における質問「図書館の旧車庫の活用を」は、オープンギャラリーとしてみごとに実現しました。

条 例	下水道事業の設置等に関する条例の制定 説明 平成31年度から地方公営企業法を適用するため。民間企業と同様の会計基準に基づいて、サービスの提供と資金の運用を行うことにより、お金の流れや資産・負債がどの程度あるのか把握でき、財政状況を正確に把握することができる。 反対討論 長谷川 昭二 不採算性の強い下水道は、一般行政で運営すべきで公営企業会計ですべきではない。また、独立採算が重視され使用料値上げの懸念が払拭されない。 賛成討論 井上 信一郎 公営企業会計になっても、一般会計からの繰り入れは可能であるとの説明である。今後の値上げは議員として判断をするべきことである。まずは公会計を取り入れて事業に取り組んでいくべき。	賛成 12
	地方公営企業法に基づく風力発電事業の設置に伴う関係条例の整理 説明 平成31年度から地方公営企業法の適用とするための制定。	全会一致
	町職員の給与に関する条例の一部改正 説明 人事院勧告に従い、給料表、勤勉手当等の見直しを行う。	全会一致
	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正 質問 秋山 修 特別職は人事院の勧告で改正するのではなく、町内の経済情勢や町民所得を鑑みて引き上げるべき。 答弁 手嶋副町長 今まで経済や所得を考えて改正した事はなく、これまで通り職員と同時に引き上げたい。 反対討論 井上 信一郎 事業所の売り上げの伸び悩みや減少、また農地の台風被害で廃作も考えている方がいる中、期末手当引き上げは理解してもらえない。	賛成 13
	議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 反対討論 田中 精一 公聴会や参考人制度など必要な手順を踏まないで改正しようとしている事は、議会基本条例の「報酬改定には公聴会等を活用すること」に抵触するものである。 反対討論 井上 信一郎 特別職の改正と同じ理由。	賛成 8
	同和対策集会所の設置及び管理に関する条例の廃止 質問 津川 俊仁 今後、廃止となる施設の方向性は。 答弁 杉本生涯学習課長 教育財産から普通財産になるため、売却、譲渡の検討がされている。	全会一致
	監査委員条例の一部改正	全会一致
	(可決)	

質疑あれこれ

下水道・風力発電

特別会計を公営企業会計へ

12月定例議会を12月7日から20日まで開きました。町長より提案された、一般会計補正予算及び二つの特別会計の公営企業法を適用する条例改正等すべて原案どおり可決しました。

一般会計補正

三陽合繊跡地

問 長谷川 昭二

企業誘致の現況は。また、塩漬けにならない様、今からでも検討開始を。

答 小澤企画財政課長

現在は、全く進出の話はない。建物を残すのか解体をするのか等も含め、今議会後、すぐに検討を始める。

問 野田 秀樹

倉庫と空き地の賃貸をしておられるが、契約内容は。

答 小澤企画財政課長

活用方法が決まった場合、3ヶ月後には退去してもらう。解約条項を設けた契約をしている。



町費解体も視野に

定住支援

問 津川 俊仁

町内者が住宅取得した場合も補助をする新規事業だが、継続する考えは。

答 松本観光交流課長

期間として5年間としているが3年が経過したところで検証する。



荷物で満杯になったふるさと館倉庫

特別会計補正

歴史文化学習館

問 津川 俊仁

借入残金3254万を一括返済した後の将来ビジョンは。

答 松本観光交流課長

ビジョンは現段階では未定だが、リニューアルや将来的な新築移転を考慮するために、基金を積み立てておく必要がある。

バイオマス

問 宮本 幸美

農家は剪定くずの廃棄に困っている。十分な利活用を。

答 渋谷地方創生監

コスト等を計算し、しっかりと利活用を考える。

問 阪本 和俊

事業者が民間でなければ成功しないのでは。

答 渋谷地方創生監

町内事業者とは推進協議会で連携、協力している。国の支援を受けながら成功させる。

その他

問 斉尾 智弘

現在、44ある自主防災組織を増やすため、効果のある方策は。

答 磯江総務課長

リーダーを作らないと進まない。自治会に向いて体制

問 長谷川 昭二

農作業人材育成センターは、成果が出ているか。

答 手嶋産業振興課長

中部地震や農業求人倍率の影響で、需要と供給のバランスが崩れ、マッチングが難しくなった。要望に応えられていないためJAと連携している。

問 野田 秀樹

空き店舗の有効活用は0件、事業承継は1件だが行政支援策は。

答 手嶋産業振興課長

既存の国県支援事業を活用。単町支援としてはリフォームや改築に補助。

まじゅくビジョン



兵庫県多可町のチップボイラー

ここを問う

質問席

12月定例議会では13人の議員が
24問の一般質問を行いました。

質問分野	質問事項	質問者	ページ
環境・生活	太陽光パネル	津川 俊仁	8
	風力発電	阪本 和俊	
	県・JR・町道の除草	藤田 和徳	9
	橋の老朽化	井上 信一郎	
	コナン通りの道路事情	油本 朋也	
	北条バイパス整備	前田 栄治	
防 災	台風24号の豪雨被害	田中 精一	11
	台風被害の復旧	斉尾 智弘	
	災害対策	前田 栄治	
教育・福祉	図書館の利用	森本 真理子	12
	いじめ・不登校の対応	町田 貴子	13
	小学校の空調化	斉尾 智弘	
	夜間中学の設置	長谷川 昭二	14
	学校給食費	長谷川 昭二	
	生活困窮者自立支援制度	油本 朋也	15
	タクシー迎車回送料	阪本 和俊	
政治・政策	青山剛昌ふるさと館	宮本 幸美	16
	青山剛昌ふるさと館	斉尾 智弘	
	「道の駅」再整備構想	田中 精一	17
	町財政運営	秋山 修	
	地方公会計	阪本 和俊	18
	ドリーム農場	阪本 和俊	
産 業	TPP・日米FTA等	長谷川 昭二	19
	就農給付金		

補正予算	一般会計補正予算（第8号）（第9号）	全会一致	可決
	介護保険事業特別会計補正予算（第3号）（第4号）		
	下水道事業特別会計補正予算（第6号）（第7号）		
	風力発電事業特別会計補正予算（第3号）		
	大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第3号）（第4号）		
	水道事業会計補正予算（第3号）（第4号）		
その他	まちづくりビジョンの変更		
	工事請負変更契約の締結（由良宿団地立替工事（第2期））		
	鳥取県町村総合事務組合規約の一部を変更する協議		

請願・陳情の審議結果

請願・陳情件名	請願・陳情者名	採決	委員会の意見
教育環境・施設・設備の充実に関する陳情	北条中学校PTA 会長 山田太一 大栄中学校PTA 会長 小林敦子	採 択	学校教育環境の整備が必要である
大栄小学校学習環境および通学路の除雪作業の改善について（要望）	大栄小学校PTA 会長 濱田政良		
教育環境・施設・設備の充実に関する陳情（北条小学校）	北条小学校PTA 会長 岡田 綾		
「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書提出に関する陳情	基地のない平和で豊かな沖縄をめざす会 芳沢あきこ	不採択 賛成5	現在の危機的な政治・社会状況を打開するため

反対討論

著名人と世界平和7人委員会のアピールを利用し、陳情者グループの運動と7人委員会の活動があたかも同じだと思わせたいと感ずる。7人委員会の参加条件に自由世界で民主主義の陣営の人とあり、戦争法廃止、憲法改悪反対の宣伝活動をしているグループの一員と思われる陳情者は、民主主義陣営の人とは思えない。公明党議員として断固反対。

斉尾 智弘

賛成討論

① 重要法案を審議不十分のまま強行。
② 民意を無視した辺野古新基地建設強行、消費税増税宣言、森友・加計問題への関与。
③ 憲法尊重・擁護義務違反。
三権分立を蹂躪する国会への干渉など戦争する国づくりへの暴走。以上の理由で賛成。

長谷川 昭二

安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピールを支持する意見書提出

賛否あり

生活に支障をきたすな

町長 必要に応じて対応



藤田 和徳

藤田

1 県が管理の国道313号土手沿いフェンス付近は、雑草が側道に張り出している。特に夏場の除草を。
2 JR下北条駅付近と東西の沿線際の雑草は、隣接する作物に被害が出ている。同じく夏場の除草を。
3 町道際の除草は自治会が作業しているのが現状。原材料費の支給申請手続きを簡単にするか。

町長

1 通行に支障をきたす恐れがあり、県土整備局に照会したところ、懸念される個所について対応。
2 JRは沿線全ては実施できないが、実施できない箇所については個別の要望を受け、実施を検討するとの事。
3 日常の除草や溝掃除については、引き続き自治会のご協力をいただき、手続き上の簡素化を検討する。



道路に張り出した雑草

条例制定で管理強化を

町長 ガイドライン策定で対応

農業委員長 独自の規制を作成



津川 俊仁

津川

町内の太陽光パネルについては、町が設置や運用を把握し、適正な課税及び管理指導ができるシステムの構築が必要だ。条例制定も視野に入れて取り組むべき。
農業委員会での取り組みは。

町長

規制型の条例制定でなく、太陽光パネルを設置する事業者が、地域の納得を得ながら適切な設置と管理を行うためのガイドラインを制定し、事前協議や想定される影響等について助言していくような体制を、今年度中に、規則として整備していく。

農業委員長

第2・3種農地の転用については、本町独自に「北栄町農地転用を伴う太陽光発電施設に関するガイドライン」を定める運用を始めている。しかし、転用後は農業委員会の管轄から離れるため、町として一括管理する部署を明確にし、条例制定を含めて早急な検討が必要だと考える。



住宅地に設置されている太陽光パネル

今後の方向性は

町長 住民の意見を参考に

阪本

平成17年の事業開始から13年を過ぎ、借入金の償還も終わつたが、今後故障等による巨額の修繕費が必要になると思う。契約終了時からは、買い上げ単価も下がり買い取り拒否もあり得る。費用対効果も含め今後の方針は。

町長

平成38年の契約売電期間終了までには、事業継続または解体、あるいは民間等への譲渡などの方向性の決定が必要。今後は、できるだけ住民に情報を公開し、広く意見を聴くことも必要。費用対効果についても修繕等による停止期間を短くするため交換部品の保有等をはかり効率化に努める。



阪本 和俊



元気に回れ3号機

渡れない橋が出る

町長 長寿命化計画の見直し

井上

町管理の224橋の点検が終了し、長寿命化修繕計画が策定された。結果はどうだったか。
建設後50年を経過する橋は、20年後に7割に達するが、これらの橋の対策はどうか。
修繕費が捻出できなければ手つかずとなり、渡れない橋が出る。

町長

国に対し財政支援を求めるべき。損傷度は、「I」から「IV」の4段階。「I」は健全、「IV」は損傷度が大きく進展した状況。「II」及び「III」はその中間という区分。「II」は161橋。「III」は8橋あり、その1つの裏門橋は、平成29

年から補修に着手。残りの7橋は順次補修にかかる。「IV」はなかったため、車両通行規制や全面通行止め措置をした橋はない。今後も定期点検の実施で長寿命化計画を見直し、橋の維持管理を進める。
町単独費用での実施は困難なので国へ財政措置の充実を求める。



井上 信一郎



工事中の由良川裏門橋

台風24号の豪雨被害

復旧対応が遅い

町長 申し合わせに従った



田中 精一

田中

①なぜ台風24号の町内被害の全容を、速やかに公表しなかったのか。
 ②予算措置を含め災害復旧対応が遅かったのではないのか。
 ③小中学生の通学路である「町道育英東線」の冠水対策を、早急に実施すべき。



冠水で通行止めの町道育英東線

町長

①10月9日の行政報告会に第1報を、12月3日の全員協議会に詳細資料を提出している。

②いつでも臨時議会を開くという申し合わせがあり、それに従って10月17日に臨時議会を開催した。
 ③この地は、過去5年で5回の冠水があった。児童生徒の通学については教育委員会と協議して一回してもらった。町の単独費用で改修を行うことは困難で、国の社会資本整備総合交付金により実施するために通学路点検で危険性を確認し、その後、優先度を考慮して検討したい。

コナン通りの道路事情

もっと便利で安全に

町長 できることから始める



油本 朋也

油本

年間13万人が訪れる「青山剛昌ふるさと館」周辺。観光客と住民のために。
 ①国道9号との交差点に信号機の設置を望む。無理ならコナン通り側に右折専用レーンを。
 ②ふるさと館駐車場の案内看板が道の駅に隠れて駐車場が解りにくい。もっと見やすい位置に。
 ③歩道の除雪をもっと早く。基準にとらわれない柔軟な対応を。



見えづらい駐車場看板

町長

①平成26年から比べて交通量は増加しておらず、再度の要望でも実現は困難。右折レーンを設置した場合、左折車の右方向の確認が困難になるため、各機関と慎重な検討が必要。
 ②現在の案内看板は錆などが目立つ。まわりの景色と同化して、見えにくいので、新しくする。
 ③除雪はまず生活道路が最優先であるが、観光客にも町を楽しんでもらいたいので、早期の除雪実施は、県に相談する。

町政（こ）を問う（環境・生活）

北条バイパス整備 重大事故後では遅い

町長 国に伝える

前田

①大栄東伯インターの東向き合流路線帯を延伸しないと危険である。県土整備局にその危険性の話をしたが一人も電話や相談もないためそのような場所は改良ができないという。町長の見解は。
 ②オートキャンプ場前の二つの信号による、



前田 栄治

町長

事故や渋滞が多発している。そのため、交通安全対策費を使って盛土の上を通る計画だが、進捗状況と完成予定は。
 ①国は、琴浦側からは下り坂となっており注意が必要だという認識は持っている。国に対策を要望する。



西から勢よく走って来る車

台風被害の復旧 受益者負担は重い

町長 可能な限り軽減

斉尾

台風24号による被害は大変なものであった。農地復旧の受益者負担は重い。中には、支払いできない地権者もいる。崩落被害が大きすぎて元通りに復元できない場合などの復旧支援は。

町長

国の災害復旧事業は、農家負担10%だが、台風24号の場合は、激甚災害指定がされ5%ほどの負担で済み、復旧を諦めず実施に向かうことができている。また、法面の崩落被害が大きすぎれば、ク積みなどで数千万円の工事費となる場合は、農地は減るが法面を安定勾配まで切りそろえるなどの工法変更で数百万円まで抑えることもできる。可能な限り農家負担を軽減。



斉尾 智弘



崩落した畑の法面（ドローンで撮影）

町政（こ）を問う（防災）

いじめ・不登校の対応

家庭への助成を

教育長 連携を密に

町長 支援策を検討



町田 貴子

町田

今年度、県内のいじめ発生件数は過去最多であった。いじめ防止の対策は、不登校になる児童生徒も多い中、学校・家庭・地域・専門機関との連携を密にし一人ひとりに細やかな対応が必要。不登校児童生徒の学校復帰に向けてのフリースクール等の授業料の助成を。

教育長

「いじめ防止等のための

町教育委員会では、

業料の助成については、生活困窮者支援事業の一つとして、支援出来ないか検討中。

町長

フリースクールの授



町内のフリースクール

基本的方針の見直し、各学校では「学校いじめ防止基本方針」の改定を行い「いじめ防止対策委員会」を設置。不登校については、家庭に起因する要因が多く、家庭と学校が連携して問題解決するためのスクールソーシャルワーカーを配置して対応。

災害対策

安心安全のため万全を

町長 必要な準備はしっかりと



前田 栄治

前田

①自然災害は防ぎようがなく、被害を最小限に抑えるための準備しかできない。訓練や講座は今後どうするか。また、備蓄食料や毛布、シーツなどにアレルギー、アトピー対応が必要では。②河川のライブカメラは、夜になると倉吉大橋などの河川途中は全く水位が見えず、あれでは避難の判断に役に立たない。国県に改良を促す必要があるが。③ドローンの災害時の利用は。



災害にも活躍する町所有のドローン

町長

①訓練や講習は繰り返しですが大事であり、被害を最小限にすることに心がける。今まで出前講座等は自治会の要望で実施していたが、今後は定期的に地区に向いて開催していく。アレルギー、アトピー対応の備蓄に努める。②映像は避難の判断をするものでなく、緊急な改良予定はないとのことだが、国県に意見は伝えた。③要綱を定め広報と災害に限定して運用している。台風24号被害現場の撮影に活用した。

森本

図書館は今年開館25周年を迎えた。蔵書は12万1000冊、年間約6万人が入館し、約6万2000冊が個人に貸し出されている。

図書館の利用 読書で認知症を予防

教育長 絵本を使って、読書・音読

取り組みは。※自宅でもなく職場・学校でもない、心地良い居場所

教育長

①平成28年度から「今こそ絵本を」推進事業に取り組み、毎月のあたまイキイキ音読教室や出前音読教室として自治会に出向いている。②読書通帳を作成し、上手く活用した方を図書③本に興味が無い人でも、新聞を読んだり、視聴覚コーナーで音楽を聴いたり映画を観たりとそれぞれが思い思いに過ごせる場所にすでになっている。



森本 真理子



入り口には楽しそうな絵本がいっぱい

小学校の空調化

コスト等の比較検討は

町長 EHPが総合評価で優位

斉尾

空調システムにはEHP（電気モーターヒートポンプ）とGHP（ガスヒートポンプ）の2種類がある。ランニングコストは、GHPの方が低いのは、インシヤルコスト、ランニングコスト等の比較検討は。災害時避難所となる体育館のエアコン設置は。

町長

実施設計の中で簡易的ではあるが比較検討している。15年間で4700万円の差が出ることや、CO₂の排出を比較した環境性やメンテナンス、信頼性においてEHPがGHPより総合評価で優位であった。体育館のエアコン設置は、費用対効果を考えると現実的ではなく、災害時はレンタルで対応。



斉尾 智弘



中学校教室に設置されたエアコン

町政（こ）を問う（防災）（教育・福祉）

町政（こ）を問う（教育・福祉）

生活困窮者自立支援制度

今後の展開は

町長 窓口機能の充実とPR



油本 朋也

油本

今後必要性が高まっていくと思われるこの制度だが、生活困窮者が収入を得るだけでなく生活改善がなされる自立できるような活用支援制度をどう活用するのか。
 ① 今まで一番有効だった支援策は。
 ② 町と社会福祉協議会が連携し実施している対策は。
 ③ この制度が十分理解され活用されるため、今後具体的にどう展開するか。



より親切で丁寧な対応が求められる

町長

① 就労支援。面談を通じて、本人の希望や適性を見定め、ハローワークと連携しながら提案している。
 ② 一時生活支援事業と家計相談支援事業を中心に実施している。
 ③ 相談を受け入れる窓口機能の充実をPRしていく。



齊尾 智弘

夜間中学の設置

一刻も早い準備を

教育長 開校準備は考えていない

齊尾

① 様々な理由で義務教育未修了のままとなっている方々の就学機会の確保は。
 ② 本町の過去7年間で、不登校のまま中学を卒業した生徒は22人あり、夜間中学を設置するニーズはある。
 ③ 「教育機会確保法」では、未就学者の就学機会の確保を義務づけているが本町の措置は。
 ④ 夜間中学の設置にむけ一刻も早い準備が必要。

教育長

① 教育機会確保法の公布を受け、県教育審議会に「夜間中等等研究部会」が設置され、設置の方向性が検討されている。
 ② 不登校であった生徒は、その多くが進学しニーズの有無は不明。県教委がニーズ調査を実施。
 ③ 県教委で検討されている段階なので、本町独自の措置はしていない。
 ④ 開校に向けた準備は考えていない。

町政ごころを問う (教育・福祉)

学校給食費 保護者負担の軽減を

保護者負担の軽減を

町長 財源が必要

教育長 考えていない

長谷川

給食は、教育の一 つで重要、本来無償であるべき。給食の保護者負担は、小学校での教育費の4割を占めている。朝食をとっていない子どもがいるなどが問題になる中、給食は、子どもの食のセーフティネットとなっている。子育て環境を

整える上でも、保護者の負担軽減が必要。

町長

保護者の負担は年間6800万円。調理の人件費、光熱費、給食センター維持費など約6700万円は町で負担。経済的に苦しい世帯には就学援助制度で給食費の援助をしている。本

教育長

学校給食の経費は、町と保護者で分担してきた。その考えは変わりなく、給食費の負担軽減は考えていない。栄養教諭、担任が子ども達に食の大切さを教えていくことをしっかりとやっていく。



長谷川 昭二



バランスのとれた献立

無料にしては

町長 事業者の自由

阪本

高齢者や障害者の通院あるいは買い物等のタクシー利用料助成は多くの人に喜ばれている。事業者により迎車回送料金が有料の会社と無料の会社がある。同じ条件にはならないか。

町長

迎車回送料金を取るかどうかは、事業者の自由。そして、どのタクシーを選ぶかは利用者の自由。町として、事業者には何も言えない。



阪本 和俊

平成30年度分
**北栄町タクシー
 利用料助成券**
 様
 ●チケット有効期間
 平成30年4月1日～
 平成31年3月31日まで
 利用者最低負担額 300円
 北栄町助成上限 800円
 ※注1) 乗降場所のいずれかを北栄町内とする利用に限る。
 ※注2) 片道1回の利用につき、助成券は1枚のみ使用可能。
 助成券 枚

多くの人に喜ばれている助成制度

町政ごころを問う (教育・福祉)

「道の駅」再整備構想

新「道の駅大栄」に確約を

町長 施設存在で登録抹消はない



田中 精一

田中

町長は町内二つの「道の駅」を差別化しながら、それぞれ特色をもった道の駅に再整備すると明言してきたが、国は、わずか13km余りの北条道路で新たに二つの道の駅を認可し、合わせて予算投入をしてくれるのか。現時点では、新たな「道の駅大栄」構想にも、国の確約をもらうべきではないか。



観光の玄関口「道の駅大栄」

町長

道の駅の登録は、施設がある限り登録抹消されない。山陰道の整備に伴い、北条砂丘のロケーションを活かした「道の駅北条公園」、そしてコナン通りの出発点に位置し観光の玄関口にふさわしい「道の駅大栄」として、国と綿密に調整しながら再整備を進めていく。

青山剛昌ふるさと館

出合いの広場へ新築移転を

町長 必要な措置を講じたい



宮本 幸美

宮本

出合いの広場は、県立美術館の誘致に取り組んで来たが残念な結果となった。ふるさと館はオープンして12年。開館当初は入館者も少なく厳しい状況であったが、現在では入館者も増え、今年度は総入館者数も100万人を突破し、将来展望も明るい。この際、未来の町づくりのために出合いの広場に移転してはどうか。

町長

昨年度の入館者は12万7千人を突破し過去最高となり、今年度も昨年を上回る入館者を記録している。本館は、名探偵コナンを活用したまちづくりを進めるうえで重要な施設なので、今後課題を整理し、調査、研究をして必要な措置を講じる。



移転候補の出合いの広場

町政（こ）を問う（政治・政策）

青山剛昌ふるさと館 移転新築の検討は

町長 調査・研究を進める

斉尾

「青山剛昌ふるさと館」

と館の移転新築に関する「請願」の採択理由で、現在の施設・設備では年々増加する来館者に十分な対応ができていないため、移転新築が必要と報告された。このことを踏まえてどう検討されたのか。必要な調査・研究を早く始めるべき。

町長

「名探偵コナン」に会えるまち」づくりを進める上で重要な施設。請願を踏まえ課題を整理し、必要な調査・研究を進め、必要な措置を講じていく。研究会など立ち上げ早急に検討。



斉尾 智弘



記念写真をパチリ

町財政運営

財政は健全か

町長 民生費土木費は少し高め

秋山

広報「北栄」10月号

号に、平成29年度決算概要が掲載されている。当町の財政状態は、近隣の町、類似団体と比べて健全か。経年で見て良くなってきているか。今後の財政運営に不安はないか。また、グラフ、数字は分かり易く説明されているか、資産・負債状況の情報が不足しているのではないか。

町長

歳入の地方税・交付税・国県支出金はおおむね同程度である。歳出の民生費は、福祉政策に重点を置いた施策を推進しているため、少し高め。教育費は同程度。土木費は、橋の長寿命化や町営住宅の建替え工事のため、め少し高め。公債費は償還のピークが過ぎたので少なめ。今後も、必要な事業を選択し将来を見据えた財政運営に努めたい。

グラフ表記については紙面の都合もあり、すべての開示は難しい。数字は間違っていない。



秋山 修



広報北栄10月号

町政（こ）を問う（政治・政策）

公正・平等な貿易を

町長 全国町長大会で対応を求めた

農業委員長 国民の理解を喚起



長谷川 昭二

長谷川

TPPや日米物品

協定（FTA）に関する2国間協議が県内生産者に与える影響は大きい。

大企業の輸出や投資を優先し、農林漁業に犠牲を強いることを止め、国民の暮らし、食糧主権、経済主権を尊重する公正・平等な貿易を政府に求めるべき。

町長

①国内農林水産業に悪影響を及ぼさない。②交渉過程の透明性の確保。③農林水産業者が希望を持って経営できる万全の措置を講ずることを決議

農業委員長

本町としても、TPP関連予算を活用し、農畜産業の体質強化を図る。

した。

TPP交渉内容が見えない中、政府の姿勢には納得できないところがある。国民の命を守る生命産業農業を守ろうとする姿勢がなく、大企業、輸出組優先、農業、輸入組軽視の小手先の対応策で乗り切ろうとしている。今の政府に何を求めても聞く耳を持たない。国民の理解を喚起する方が良いと思う。

町長

中間評価制度の導入以前も、「農産物を適正に生産していない」、「農地を遊休化した」、「農業従事日数の不足」、「改善指導に対する取

長谷川

就農給付金の中間

評価制度の導入は、新規就農者の増加にブレキとなりかねない。本町の対応は、また、資金返還を求めるのではなく、就農を定着させるために国の責任を果たすよう求めるべき。

農業委員長

「組みがない」などの場合、交付停止、資金返還を求めることになっていたので、中間評価制度が新規就農者の増加にブレキをかけるとは言えない。就農を諦める方もない。経営状況の思わしくない就農者には、サポート体制もある。

町長

本人に、いくら強い意志があっても向き不向きがある。計画通り行かなければ負債だけが増え、早めに継続か撤退の決断も必要。税金の投入をす以上、資金の交付停止



就農支援の案内（町HPより）

財政健全化に活かせ

町長 財政状況を分かりやすく提供



秋山 修

秋山

平成29年度から取

組んでいる地方公会計の導入目的と意義、そして、町民にとってどのようなメリットがあるか。

歳入・歳出の決算書では、資産・負債などのストック情報、減価償却を含めたコスト情報、事業別・施設別のセグメント情報が不足または無く、地方公会計の財務書類の情報が必要と思われるが、その対応は、

※企業の売り上げや損益などに於いて、事業部門別・地域別などに区分された情報。

町長

「地方自治体」の会計

に「発生主義、複式簿記」を取り入れることにより、財政の見える化を促進し、強い行政運営を行うことを目的にしている。町民には、自治体の財政状況を分かりやすく情報提供できるメリットがある。

平成29年度分の財務諸表は平成31年3月に作成できるので、初めての財務諸表ということで研修をし、理解を深めたい。

ドリーム農場

経営状況の報告は

町長 全員協議会で

阪本

アグリビジネス投

資育成株式会社の3千万円の増資は大いに賛成。

町の投資比率は4分の1となり、ドリーム農場の経営状況を議会本会議で報告する義務はなくなったが、行政報告会ではなく、正式な会である全員協議会で報告すべき。

町長

ドリーム農場の立ち上

げ時から農林中央金庫のアドバイスを受けている。アグリ社への橋渡しもしていただき、ファンド出資もしていただ

いた。今後も経営計画等相談にのっていただく。経営状況は全員協議会で報告したい。



阪本 和俊



収穫中のイチゴ農場

就農給付金

中間評価制度は不要

町長 農家の自立には必要

農業委員長 返還要件もやむを得ない

や返還要件があってもやむを得ない。新規就農で生計が成り立つのは簡単ではない。支援期間後の5年間を町で支援必要。

町政（こ）を問う（産業）

町政（こ）を問う（政治・政策）

調査報告の委員会

総務教育委員会

調査期間

平成30年10月10日(水)～11日(木)

調査結果

1 島根県浜田市役所

(1) シングルペアレント介護人材育成事業

県外から母子・父子家庭(子どもは高校生以下)が移住し、介護事業所で研修・就労すると市や事業所から一定の支援が受けられる。事業所が1年目に月額15万円以上、支度金30万円、就労し5年を経過したとき100万円を支給。市は教育支援として月額3万円を1年間支給、家賃助成として上限2万円1年間助成。自動車販売会社は中古自動車を無償提供。

(2) 子育て支援施設

子育て支援センターを3か所に開設。子育て支援ガイドを作成。新生児聴覚検査費用を一部助成。放課後児童クラブの充実、平成30年度は20クラブでスタート。産前産後家事支援サポーターの利用を3年に拡充。産後ケア(実績115回、自己負担あり)。

2 島根県邑南町役場

日本一の子育て村の取り組み

攻めと守りのプロジェクトがある。攻めの部分、地域おこし協力隊制度を活用し食の起業家を育成し定住に繋げている。守りの部分、町内2か所の病児保育室。赤ちゃん誕生を防災無線で放送し、全町で祝う。小・中学校数は合併後も統合することなく同数を維持など。

提言

- (1) シングルペアレント介護人材育成事業は大変有効であり、他業種にもあてはまる。ぜひ検討しとりいれるべき。
- (2) 新生児聴覚検査費用の一部補助と不育症(妊娠しても流産・死産を繰り返してしまう状態)の補助は本町も考えるべき。
- (3) 学校の統廃合は地域の衰退に拍車をかけるといふ考え方は人口減対策に取り入れる方策。12ある公民館の地域ごとに特色ある人口減対策は本町でも取り入れるべき。

民生経済常任委員会

調査期間

平成30年10月10日(水)～12日(金)

調査結果

1 目的地となる道の駅のありかた

(1) 島根県出雲市 道の駅キララ多伎 平成10年4月開業
日本海に面した国道9号線沿いにある道の駅 年間利用者45万人
建設費…約17億円(国県補助金1・2億円) 主力商品…特産のいちじくを使ったジャム、ワイン、ソフトクリーム 年間売上…約4・4億円(平成29年度) 小林駅長が(株)イオンより公募で就任。以来20年間支配人を兼務。8名で開業。内6名は(株)イオン出身者。

(2) 山口県萩市 道の駅萩しーまーと 平成13年4月開業

萩港に水揚げされた魚介類や近郊の農産物を販売する生鮮市場 年間利用者130万人
建設費…約5億円(国県市の補助金2・3億円、残りは組合負担) 年間売上…約9億円(その他1億円は首都圏で売り上げ) 初代駅長は公募により(株)クルートの出身者。

2 島根県雲南市 地域自主組織による課題解決型の住民自治

人口39,715人・高齢化率37・0%平成29年4月
市全体で自治会の枠を超えたいくつかの地域に分割し自主組織を形成。人口減少や高齢化により自治会だけで不可能になった行事や交流活動・買い物支援など自治会単位では解決が困難なことを克服。

提言

- 1 民間から自由な発想で経営手腕を發揮できる人材を駅長にすべき。休憩だけでなく、目的地となる道の駅を目指すことが重要。計画段階から道の駅の建設に関する出店希望者を募集すべき。
- 2 小規模多機能自主組織は人口減少と高齢化問題を抱えるすべての自治体が直面する課題である。この事例を参考にして取り組むべき。



「道の駅キララ多伎」で研修中

「議会出前座談会」

届け 町への熱い思い

第2弾

平成30年定例議会の報告と町政全般に対して質疑に答える出前座談会を開催しました。各会場とも様々な課題について熱い議論がありました。今回は4か所での開催報告を行います。

由良宿1区自治会

11月6日
参加者12人

危険空家対策

問 由良宿1区にも空家が目立つ。瓦が落ちたり、通学路にあるブロック塀にも危険なものもある。隣に住む住人としてはとても心配。

答 条例改正により行政代執行はできるようにしたがハードルは高い。危険空家は、「特定空家」に指定をして勧告などをし、国県の支援を受けながら解体につなげたい。

自治会未加入問題

問 アパート入居者や、持ち家の人からの自治会未加入者が増えている。何か対策はないか。

答 難しい問題。自治会長を中心に、説得が必要では。

大島自治会

11月8日
参加者13人

三陽合織跡地

問 今回の解体事業費の内容は。土地取得の理由と、今後の見通しは。

答 倒壊の恐れのある北側のブロック塀の撤去。固定資産税の未納が膨らみ、評価額より安く購入し、企業誘致を目指している。現在一部賃貸している。

防災・浸水対策

問 大島は災害の多い地域。先日の大雨でも水没し、床上浸水もあった。河川の浚渫の推進と、防火用施設整備のための倉庫などの整備補助を。

答 持ち帰って検討する。

西穂波自治会

10月17日
参加者8人

水没問題

問 先の大雨で西穂波周辺の通学路を含む道路が水没した。その対策と、海拔の表示を。

宅地裏の傾斜地問題

問 改良区で整備した土地が崩れかかっている。改良区と協議しているが、話が進まない。

答 町に伝える。

由良宿2区自治会

10月24日
参加者10人

中央公民館大栄分館

問 中央公民館大栄分館は今後どうする。耐震調査はしているのか。

答 耐震調査はしている。今の状態で使えるだけ使い続ける。

道の駅北条公園

問 利便性を考えれば将来発展の可能性があると思うが、採算はとれるのか。チャレンジすることは大事。応援している。

答 計画は今年度中に大まかな構想が提示される。

なかよし 兄弟姉妹



なかよしさん
募集中！
議会事務局まで

いけぐち 池口 誠士くん 小3 (左)
ひより 池口 日和さん 小1 (右)
かずひ 池口 和陽さん 5歳 (中央)

(大谷)

これから、色々な体験して、カッコいい誠士になってね。優しくお姉さんな日和、2年生になったらスポーツにがんばろう。負けず嫌いで、楽しい事が大好きな和陽、今年は年長さんしっかり。



いのうえ 井上 愛生さん 6歳 (右)
あさき 井上 朝輝くん 3歳 (左)

(国坂浜)

愛生ちゃんは、大きくなったらお菓子を作る人になりたいそうです。働く車が大好きな朝輝くんは、大きくなったらダンパーカーになるそうです(笑) いつまでも仲よし姉弟でいてください。



知っとななる？こんな北栄

北条小学校防雪ネット



平成30年12月、凍結や積雪で危険だった給食センターから校舎までの通路に防雪ネットが設置された。特別教室への移動や給食の運搬が安全になる。

災害時対策井戸 (由良宿)



平成30年10月、図書館の敷地内南に鳥取県さく井協会、鳥取県さく井技能士会のご厚意により、設置された。この井戸は町民が自由に利用できる。しかし、飲み水としては適さない。

編集後記

2019年もあっという間に2か月が過ぎました。日々の経過がとても早く感じます。本誌は、平成30年度高校生議会の記事を掲載していますが、高校生たちの発想には驚かされました。

16人の高校生議員と1人の議長による議会は見応えがありました。TTCでも放映されました。過去の高校生議会での質問を受けて、コナン通りに面した図書館の車庫がギャラリーに変わっていますので、是非注目してご利用ください。

津川俊仁

発行責任者 議長 飯田 正征
編集 広報広聴常任委員会
委員長 長谷川昭二
副委員長 藤田 和徳
津川 俊仁
野田 秀樹
前田 栄治
森本真理子